

2015年7月28日

## 映画『アントマン』への「ヤクルト」の プロダクト・プレイスメント(映画内の商品露出)を実施

株式会社ヤクルト本社(社長 根岸 孝成)では、ザ・ウォルト・ディズニー・カンパニー傘下のマーベル・スタジオが製作する映画『アントマン』(9月19日(土)日本公開)において「ヤクルト」が映画内で露出されるプロダクト・プレイスメントを実施します。

当社は、全世界で公開される映画『アントマン』劇中で「ヤクルト」を登場させることで、商品の持つ「グローバルブランド」としての存在感を広く世界中のお客さまにお伝えします。

またプロダクト・プレイスメントとあわせて、映画『アントマン』とタイアップしたテレビCMをアメリカ、香港、オーストラリアで放送します。

プロダクト・プレイスメントおよびタイアップテレビCMの詳細は以下のとおりです。

### 1. プロダクト・プレイスメントシーンについて ※本編35分ごろ

(1) 留置所に入れられている主人公のスコット・ラング(ポール・ラッド)のもとに、アリ達がアントマン・スーツを運んできます。スコットはこのスーツを着用するかどうか悩んでいます。その時警察官のゲイルが「ヤクルト」を飲みながらスコットがいる留置所の前を通りかかります。

(2) ゲイルがスコットのいるはずの留置所を確認したとき彼の足が止まり、スコットが檻の中にいないことに気づきます。ゲイルはショックで飲んでいた「ヤクルト」のボトルを落とします。その横を1.5cmの大きさになっている“アントマン”となったスコットが通り抜けます。



©2015 MARVEL

MARVEL  
アントマン9.19(土)  
ロードショー  
www.marvel.com

## 2. タイアップテレビCMについて

コンセプトは「小さなヒーロー」。身長 1.5cm で闘う“最小”のヒーローのように、「ヤクルト」も小さなサイズで多くの人々のすこやかな毎日を守っていることを表現しています。

敵組織の研究室のような世界。劇中音楽をBGMにミステリアスな雰囲気の中、徐々に「ヤクルト」がその姿を現していきます。特徴的な「ヤクルト」のシルエットを印象的に見せつつ、最後はそこが冷蔵庫の中だったとわかるストーリーです。

なお、アメリカ、香港、オーストラリアでのテレビCMは7月から放送されています。

[映画「アントマン」について]

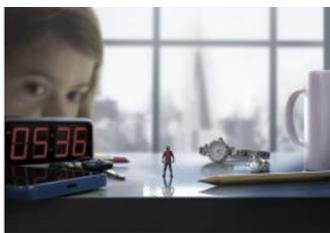
〈概要〉

スパイダーマン、アイアンマンなど、数々の魅力あふれるキャラクターを生み出してきたマーベル・スタジオからいまだかつてないユニークなヒーローが誕生しました。それが身長わずか 1.5cm に変身する“最小”ヒーロー、アントマンです。

身体が小さくなることで、オモチャや掃除機など生活用品が驚くべき脅威となり、ユーモアとスケール感あふれるアクションが展開されます。この誰も見たことがないバトルに、娘のために再起を図る主人公のドラマが見事に融合し、ヒーローの常識をくつがえす、まったく新しいエンターテインメントが世界を魅了します。

〈ストーリー〉

やる気も能力もあるのに、なぜか空回りばかりのスコットは、仕事も家庭も失い絶体絶命。彼にオファーされた最後にして唯一の“仕事”は、身長わずか 1.5cm になれる驚異の“スーツ”を着用し、想像を絶する特殊能力を持つ“アントマン”となることだった。最愛の娘のために猛特訓を開始した彼は、本当のヒーローとなり、人生のセカンド・チャンスをつかむことができるのか？ そして、アントマンに託された決死のミッションとは…？



©Marvel 2015

以 上